

春は東秩父がイチオシ！



3月31日(日)、大内沢地内上ノ貝戸センターにおいて「第14回花桃まつり」が開催され、多くの観光客が訪れ、にぎわいました。地元の太鼓愛好会の演奏や、雅楽演奏、またバンド演奏やマジックショーなどがメインステージで行われ、多くの催し物に訪れた方は花見だけでなく別の楽しみもみつけられたようです。

4月上旬、坂本地内の採石場跡地「虎山」には、約2千本の桜が開花します。全長約2キロにわたり様々な種類の桜が咲き、桜のトンネルをハイキングがてら楽しむことができ、「毎年ここに来ることが楽しみです」と観光に来られた方はおっしゃっていました。



春の東秩父はきれいな花々でいっぱいになります。大内沢上ノ貝戸地区では3月の下旬に、花桃が辺り一面に咲き誇り、ピンク色のじゅうたんで敷き詰められているような風景は桃源郷のようです。



4月7日(日)、「虎山の桜まつり」が開催され、花見にぴったりのフードを販売する出店やステージで催し物が行われました。桜の花を見ながらお団子を食べたり、趣味の写真を撮ったり、地元団体の太鼓の音を聞いたり、多くの方がそれぞれの楽しみ方をされていました。そして夜には大きな花火が上がり、地上の花と天上の花に、訪れた方は歓喜されたようです。

お詫びと訂正

広報3月号において、虎山の桜を約3千本と表記してしまいましたが、正しくは約2千本の誤りでした。

お詫びして訂正いたします。

